

 医学統計学研究センター
平成 28 年度 第 3 回 セミナー

空間疫学
— 疾病の集積性を検出する統計学的方法とその実際 —
Spatial Epidemiology
- *Statistical Methods for Disease Clustering* -

- 講 師： 丹後俊郎（医学統計学研究センター）
- 日 時： 平成 28 年 8 月 12 日（金） PM1：15 ～ PM5：00
- 場 所： 汐留イタリア街東京茶業会館 8 F 東茶協ホール
- 参考書： Tango T. Statistical Methods for Disease Clustering, Springer (2010) 9,000 円
丹後、高橋、横山著．空間疫学への招待、朝倉書店（2007）4,800 円
※ 当日、参考書の購入を希望される方は事前登録が必要です。
- 対 象： 臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、
臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者
で、メタ・アナリシスの基礎知識をある程度有している者
- 参加費： 参加申し込み区分（税込）：
A：アカデミック 1万2千円（大学・病院・研究機関所属の方）
B：ノン・アカデミック 2万4千円
- 定 員： 50 名（定員に達し次第受付締切）

セミナーの内容：

疫学は疾病の分布を記述しその原因を探る学問である。つまり、ある疾病の発生の時間（地域、あるいは、要因別）分布を観察し、他と比べて”通常期待される頻度よりかなり多い”「疾病の集積（クラスター）」を観察することからその原因究明の研究が開始される。しかし、偶然変動により見かけのクラスターが生じることも少なくない。また、「ある地域にある疾病が多いのでは？」という報道（Reported Cluster）の解釈は慎重でなければならない。つまり、実際の疫学研究では、観察された疾病の集積性が偶然変動か否かを見極める統計学のセンスが必要となる。

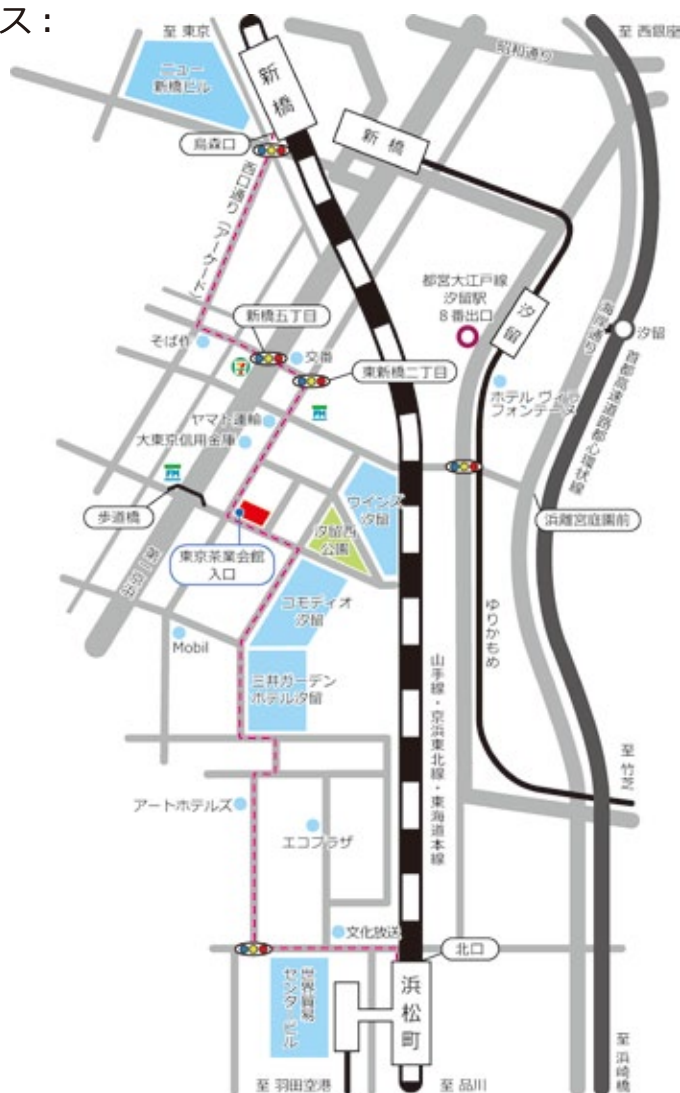
本セミナーでは、研究デザインに応じた疾病集積性検出のための最新の統計手法を解説するとともに、統計ソフト R、FlexScan を利用した実データの解析の実演を行う。また、疾病集積性に関する簡単な統計手法が内蔵され、市区町村別疾病地図（SMR）を描ける統計ソフト DMS (Disease Mapping System) についても紹介する予定である。

会場で実習も試みたい受講者は PC（電源はありませんので、バッテリーは十分に）を持参していただくとともに、次のソフトを事前にダウンロードしておいてください。

R : <http://www.r-project.org/>
FlexScan : <https://sites.google.com/site/flexscansoftware/>
DMS: <http://medstat.jp/downloaddms.html>

 **エレガントな汐留イタリア街で行われる
最先端のセミナーに参加しませんか？** 
Coffee Break では素敵な音楽と Coffee & Sweets が楽しめます

アクセス：



**東京茶業会館 8 F
東茶協ホール**
港区東新橋 2-8-5
(汐留イタリア街)

JR「浜松町」駅「新橋」駅
地下鉄大江戸線・ゆりかもめ
「汐留」駅、地下鉄三田線
「御成門」駅より 徒歩7分
地下鉄浅草線・大江戸線
「大門」駅より 徒歩8分

セミナー参加申込方法：

参加希望の方は、配布資料の準備もごございますので、**8 / 4** (Thu) までに、できる限り、
事前登録をお願い致します。

参加申し込みは  e-mail にて承ります。参加費は当日お支払い下さい。
※領収書と参加証明書お渡し致します

宛先： secretary@medstat.jp

件名： 第3回セミナー参加申込

本文： 1. ご氏名 2. ご所属 3. 参加申し込み区分
4. 参考書購入希望の有無

※セミナーのお申し込みをいただいてからお申込者様のご都合でキャンセルされる場合、
キャンセル料を申し受けますので、ご注意ください。セミナー開催の

8 日前（開催当日を含まず）まで： 不要
7 日前 - 前々日のキャンセル： 参加費の半分
前日 - 当日のキャンセル： 全額